

会 いた い 聞 か せ て

丸みを帯びた形には、満面の笑みが描かれている。栃木市内の4社が障害者や高齢者がペットボトル飲料のキャップを片手でも開けられるようにと開発した「スマイルオープナー」が昨年12月、誰にでも使いやすい設計をコンセプトにした「ユニバーサルデザイン」の推進に貢献したとして、内閣府特命担当大臣奨励賞を受賞した。半径1キ以内の「ご近所」同士で作り上げた商品に込めた思い、今後の普及にかけける意気込みを聞いた。

【岩壁峻】

——スマイルオープナー した。

開発の経緯は

◆大沢さん 2006年 商品開発に取り組み始めたに商工会議所などが行ったのは、07年のことです。商産学官連携の会議で、地元品のデザインは専門業者に依頼したのですが、予算施設で行った実習の体験談を聞いたことがきっかけでした。「施設内の自動販売機で購入したペットボトル飲料のキャップを開けられずに困っている高齢者がいる」という話を知って、「高齢者が一人でもキャップを開けることができる商品ができないだろうか」と考えたのです。

◆三ツ村さん 当時の試作品を見て、「このままでは商品にはならない」と感じました。そこで、うちの会社には（キャップの溝に合うように）筒の内側に縦筋を入れる加工技術を持っているので、これに応用することにしたのです。

◆大沢さん 最後に加わったのが、石川さんです。4社の得意分野を持ち寄って共同開発に取り組み始めました。

——スマイルオープナー

池添亮さん(50)、大沢光司さん(52)
三ツ村義康さん(53)、石川昌宏さん(41)

ユニバーサルデザイン商品開発で国から表彰



(写真左から) いけぞえ・まこと プラスチック製品製造会社「サカエ工業」社長▽おおさわ・こうじ 介護福祉事業を手がける「メディカルグリーン」社長▽みつむら・よしやす 金属加工会社「三ツ村製作所」社長▽いしかわ・まさひろ 精密機械加工会社「石川製作所」専務。いずれも栃木市内に本社がある。スマイルオープナーは自販機への設置を想定したアルミタイプが4000円、家庭用のプラスチックタイプが840円。問い合わせは栃木商工会議所(☎0282・23・3131)。

得意分野で4社連携

は自動販売機に取り付けることを想定しています

◆大沢さん 私たちが幼かった頃には自販機に瓶入りの飲料が売っていて、栓抜きも取り付けられていたんですよ。ペットボトル入性も考え、商品は金属製にしました。その後、一般家庭での普及も考え、安価なプラスチック製のスマイルオープナーも売り出すことにしました。

◆石川さん 商品の耐久性も考えたのです。耐久

——利用者からの実際の反応は

◆池添さん 「ナースコールをしてキャップを開けてもらっていたが、自分でも開けられるようになった」「リウマチ患者が自分で開

——今回の表彰を商品普及の弾みにしたいですね

◆池添さん 国から「お墨付き」をもらったと思っ

聞いて一言

「『ペットボトル飲料を売っています、スマイルオープナーも付いています』という自販機が多く設置されるのが理想です」と大沢さんは話す。「誰でも」は短いフレーズだが、それを実現するには長い道のりが必要なのもある。この商品の普及が社会の「壁」をまた一つ取り払っていくことにつながることも感じ